

東京電力福島第1原子力発電所の処理水の日本政府の海洋放出計画について、国際原子力機関（IAEA）が「安全基準に合致している」と結論づけた。フクシマ問題解決に向けた大きな

Smart Times

一歩だ。だからといって風評被害が消えてなくなることはない。科学的な知見を示されたところで、風評の主たちの感情が変わることはない。
評判のネガティブパワー恐るべし。これは組織の中

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文卒。マラーサーシャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最前線執行責任者（COO）などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

においても同じだ。組織のしなりすると一気に悪評が中で人を生かすも殺すも定着してしまう。

「評判」次第。人事評価の悪評を短期的に消そうと結果は給与や昇進に多少影響したら、私の経験上、その響があるくらいで、翌年頑組織のメンバーの八割以上張ればよい。悪い評判が立を交えないといけない。二

悪い評判からの克服法

つてしまふと居場所がなく、割以上の人が残っていると多くなってしまう。そこから再度まん延してしまふ。ただし、これは現実的ではないだろう。

多くの場合、小さなことまっ。これは現実的ではないだろう。

から始まる。過剰反応であつたり、事実無根のこともあつたりする。そもそもそれが事実かどうかは問題ではない。数名がネガティブに感じたことからストーリーが作られる。特に組織の中で影響力のある人が加担

織内で信任を得ていないリーダーが正義感から発言したとしても、悪評のネガティブパワーにやられてしまふ。リーダーも悪評の対象となってしまうので要注意だ。ただし、これから

悪評のネガティブパワーから生じるマイナスイメージを解消するには上書きし、新する施策を総合的かつ集中的にするこ

とを提案したい。新たなフクシマと言え

ナスイメージを打ち消すだけ、すべての施策をそこに返し定着させるのだ。点の紐づけした方がよい。

行動を線にして、線を面にする。その行動はマイナスイメージの原因となっていないことへのおわび・反省行動ではない方がいい。おわびや反省行動はその原因とイメージが形成されるはずだ。今後のフクシマの復興に注